

生徒会スローガン：互いに尊重  仲間と成長 頑張りを認めあえる学校を目指そう！

茨木市立西中学校

生徒会ニュース

第10号 2015年11月9日(月)

教育月間

11月 生活目標

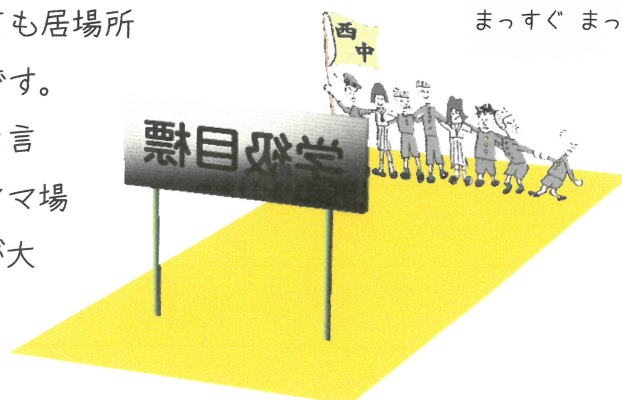
私 仲間 クラス を振り返ろう

今、みんなのクラスの雰囲気はどうですか。一人ひとりにとって居心地のいいクラスになっていますか。次のチェックボックスに✓をいれてみましょう。

- 良くなりたい自分を素直し出すことができますか。
- まじめに頑張ることを茶化したり、からかったりしていませんか。
- 違いを認めてくれますか。
- 安心して授業を受けることができますか。
- 仲間に本音を出すことができますか。

65期生徒会長の原田くんは「11月はゴールへの軌道修正の月」と説明していました。「優しさの木」は、「私・仲間・クラス」をもう一度ふりかえり、誰にとっても居場所のある学校にするための取り組みです。3月に「このクラスで良かった」と言えるクラスになるための、最大のヤマ場である11月。私・仲間・クラスが大きく成長できる11月にしていきたいと思います。

ゴールにむかって
まっすぐ まっすぐ！



10月26日(認証式)

日常・仲間・自治

11月 生活目標:〔私・仲間・クラスを振り返ろう〕

校長先生のお話

学校の中心がバトンタッチ

● 新旧本部役員 挨拶

新会長：先輩方がつくってこられた「西中生徒会」をしっかり引き継ぎ、さらに発展させていきます。

旧本部役員

田中さん：優しさの木やJ4などの仲間を大切にする取り組みを継続して欲しい。

工藤くん：行事がゴールではなく、3月がゴール。3月には学級目標通りのクラスになっているよう頑張っていこう。

矢野さん：集会の時だけでなく、授業や日常でもCさんになれるようなクラスをつくって欲しい。

高岡さん：リーダーだけでなく、気付いた人が自然に声かけができるようなクラス、学年、学校にして欲しい。

齊藤くん：「日常から行事へ 行事から日常に」— 西中の活動はこれがすべてと言っても過言ではない。「日常」を大切にしていってほしい。

原田くん：今の西中では、「日常から・・・」や「Cさん」などの言葉が当たり前になってきている。これはリーダーやそれを支える一人ひとりの努力の成果だ。65期生徒会ではそのような言葉の意味を書いた「Q&A24」を作成した。学年やクラスで活用し、取り組みの意味を理解していってほしい。

本 部

生徒指導の先生より

文化発表会・体育大会などがあった今年度の前期も終わりました。しかし今年度の学校生活はまだ半分なります。後期には行事はなくとも、新しい学年へ向けての時準備の意味である大切な時期です。いろいろな問題もあるかも知れませんが、新しい委員、班長などで声を掛け合い、つながってよりよい後期の西中学校をつくっていこう。